

## はじめに

共に考え、共に実行する  
戦略コンサルティングサービス

# つなぐESG<sup>®</sup>

昨今、SDGsやESG投資が注目されています。

SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) は、2015年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、地球上において「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

その推進力として、ESG投資が期待されています。ESG投資とは、従来の財務指標だけでなく、非財務指標である環境 (Environment)・社会 (Social)・ガバナンス (Governance) についても評価した投資を指します。

日本では、2015年に年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF:Government Pension Investment Fund) が本格的にESG投資を始めたことが、発展の大きな契機となっています。

企業は、従業員の能力開発への取組み、サプライヤーとの公平で倫理的な関係の構築、地域社会への貢献等をおこなうことで、株主に対して長期的利益の提供をおこなうことが必要とされています。また、これらに伴って、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) に代表される、環境・気候変動に関する情報開示を求められています。これらの活動目的の集合体がSDGs、その目的を達成する手段がESG投資と言えます。SDGsとESG投資は、より良い世界へ導く車の両輪なのです。



# NCMのかんがえるESG

## 建築・都市に関わるESGの取組みを 経営者の目線でサポートします

持続可能な未来への問題を、人の活動と人を取り巻く環境の関わり方の問題ととらえると、建築・都市はこの問題と深く関係しており、関連企業はESGに関わる問題に真剣に取組むことが緊急の課題です。

建築・都市は人の生活環境そのものです。

建築・都市は人の経済活動によって作られ、それは地球環境に影響を及ぼします。

建築・都市の活動の中で人は地域環境・社会環境・労働環境をつくります。

日建設計コンストラクション・マネジメント (NCM) では、設立以来「業務における公正で透明性の高いマネジメントサービスの提供」を掲げ、中立的な立場に立ち、ステークホルダー全員でプロジェクトを成し遂げることを目標としてきました。同じように、事業活動に関わる人々と協力し合いながら、地球環境への負荷を低減し、社会の不平等をなくす活動を継続していくことが重要であると考えます。

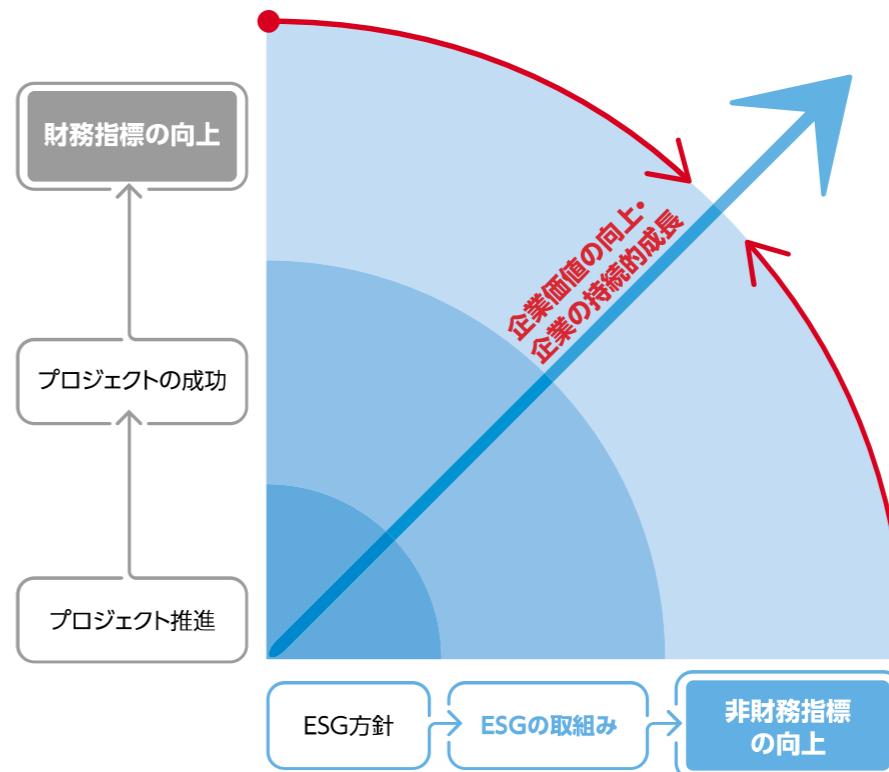
我々は、CM (コンストラクション・マネジメント) 業務を通じて、クライアントと共に考えながら、安心して暮らせる環境、生きがいのある暮らし、より良い社会の創出に貢献します。



NCMの環境への取り組み “木を伐り森を知る”「木を伐る活動」

これから企業が長期的に成長していくためには、事業を通じて収益を上げることにより評価される価値（財務指標）と、環境・社会・ガバナンスに対する取り組みにより評価される価値（非財務指標）の両方の価値を向上させることが重要となります。

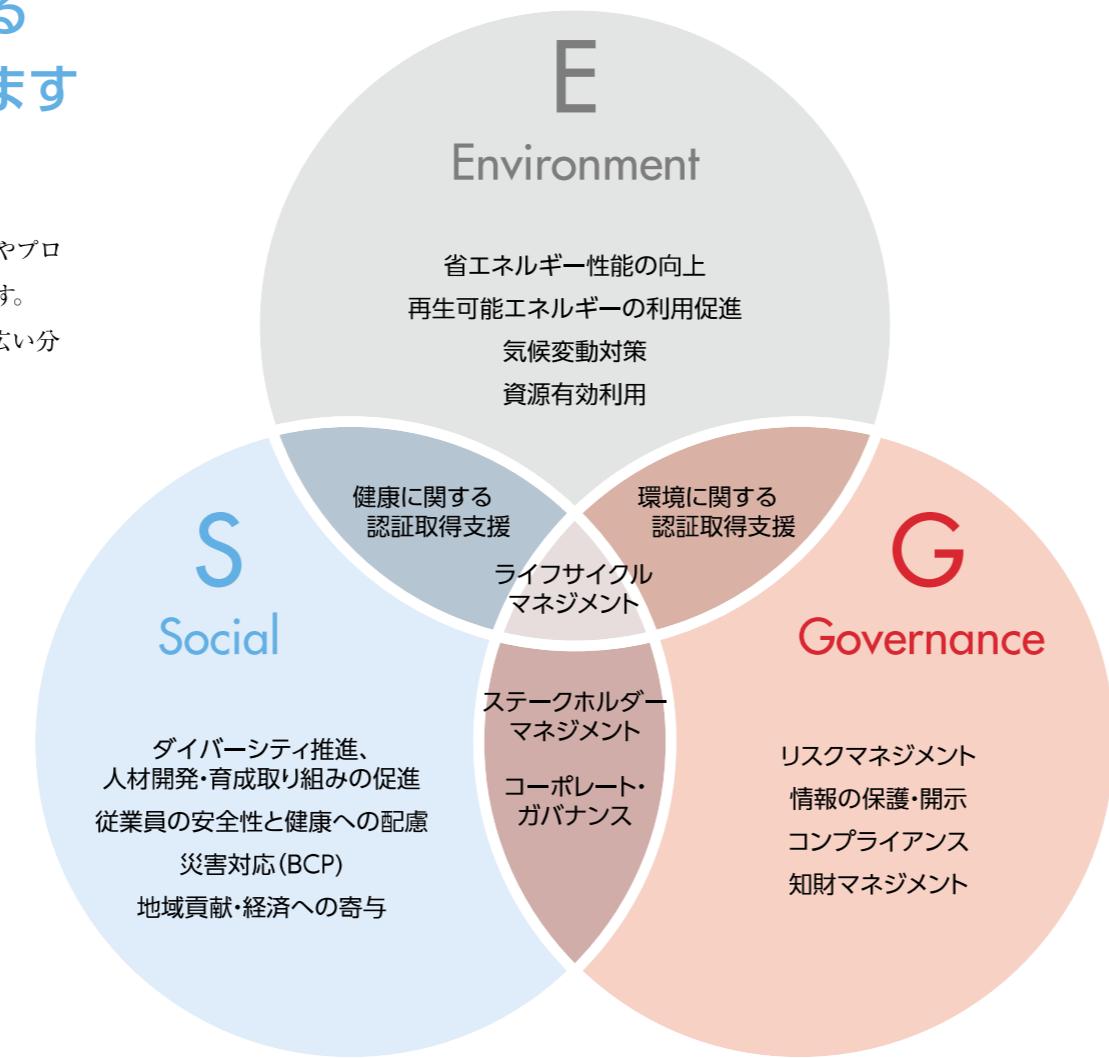
日建設計コンストラクション・マネジメント (NCM) は、建設関連プロジェクトにかかる総合的なマネジメントサービスに加え、クライアントのESGに対する思いを理解し、プロジェクトとESGに関する取組みを繋ぐことにより、企業の総合的な価値向上に貢献します。



# 建築・都市に関するESGに関する クライアントの悩みにお答えします

建設に関わるプロジェクトは、環境 (E) への対策のみにとどまりません。

サステナブルな未来の実現には、建築プロジェクトを取り巻く社会（S）やプロジェクト運営に関するガバナンス（G）等においても様々な対策が必要です。私たちは建築・都市のESGに関する想いを実現するパートナーとして幅広い分野を多角的な視野でサポートします。



## Social

建築物が社会に与える様々な影響に加え、建築プロジェクト運営に関する取組みや、それらを取り巻く環境が社会に与える影響をマネジメントする事で、サステナブルな社会の実現を支援します。

また、新しいワークスタイルの提案等を通じ、生産性や創造性の向上に加え、ステークホルダーの健康や安全に関する検討支援を行います。

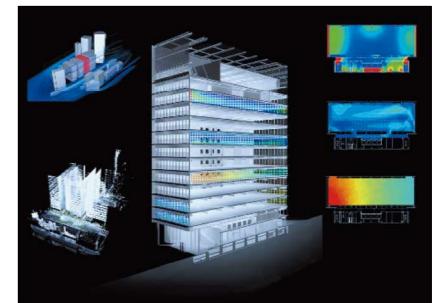


/ 社会 /

## Environment

建物の環境負荷低減検討や再生可能エネルギーの検討をはじめとした建築に関するライフサイクルCO<sub>2</sub>の縮減を行い、建築・都市の側面からサステナブルな社会の実現に貢献します。

また、各種環境認証取得の支援を通じ、保有不動産や建築プロジェクトを通じてステークホルダーに対する環境配慮の見える化を行います。



/ 環境 /

## ➤ Governance

ステークホルダーに対して透明性のあるマネジメントサービスを通じ、建築プロジェクトに関するコスト、スケジュール、品質等の情報を中立的な立場で管理する事で、建築物が抱えるハード面のリスクと、プロジェクト運営や組織運営に対するソフト面のリスクの低減を図ります。



## ／企業統治／

# 日建グループによる、インクルーシブな ESG戦略コンサルティング

## 日建グループの連携により、多角的なESGに関する取組みを実現します

日建グループは、建築の設計監理、都市デザインおよびこれらに関する調査・企画・コンサルティング業務を行うプロフェッショナル・サービス・ファームです。

総勢3,000名をこえる建築のデザイン、エンジニアリング、マネジメントなど様々な分野の専門家が建築・都市のESGに関する様々な課題に対し、果敢に挑戦しています。

各クライアント特性に則したESG関連サービスにおいても、グループ間を越えたノウハウの共有を行い、多角的かつインクルーシブ（包摂的）な視点でプロジェクト及び保有不動産のサステナビリティ検討や、建築を通じたCSR、CSVの実現を支援します。

また、日建グループは経営の独立を確保する事で、各種サービスにおける「ガバナンス」を確保し、コンサルティング業務に必須の中立性と透明性を厳しく守っています。



**NIKKEN**  
EXPERIENCE, INTEGRATED

日建設計コンストラクション・マネジメント 株式会社



東京オフィス  
〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-27  
TEL: 03-5803-9770

大阪オフィス  
〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜4-5-33  
TEL: 06-6203-2522

名古屋オフィス  
〒450-6204 名古屋市中村区名駅4-7-1  
TEL: 052-388-6440

九州支所  
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-12-14  
TEL: 092-732-3028

間伐材パルプ使用年平均10%以上



フォレスタCoC  
K0301090

このパンフレットは間伐材を有効活用した紙である「フォレスタCoC」を使用しています。  
日建設計コンストラクション・マネジメント (NCM)は、社会課題解決へ向けたサステナビリティに関連する活動を展開しています。

Copyright © 2022 NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT, INC.

202205.400